

Amir Tsarfati 氏 中東アップデート 2017年 1月 12日公開

世界中でプレッシャー高まる！

.....  
フィリピンより、シャローム！アミール・トサファティです。現在、フィリピンの中でも最も素晴らしい場所の一つ・ボラカイ島にきています。今回、教会でお話しするためにここにあります。いくつか予定されている大きな講演の合間に、数日間の休暇を取る予定です。先日の日曜日（1月8日）はマニラでお話ししました。次の日曜日（1月15日）は3~4万人が集まるマニラで最大の教会でお話しします。また、その合間に、政府職員や上層部の方々と  
の会合がいくつも入っています。これらの会合もちろん、現在の出来事と聖書預言、今の時代について教え、人々の救いと、主に立ち返ることを教える以外の何ものでもありません。目的はそれだけです。私は政府関係者ではありませんし、全ての会合は聖書を取り囲んで行います。これが何よりも感動的なのです。

さて、今私の背後には太平洋が広がっています。恐らく、もう耳にされているかと思いますが、数日前に今年最大の地震が発生しました。地震の大きさはマグニチュード7.3、震源は海底の深い所でした。（書記注：2017. 1. 10 インドネシア付近。その後M7.2に修正、震源の深さは590 km）何のダメージもなく、津波も起こらなかったことを神に感謝します。しかし、このところずっと地震に注目しているのですが、—私が終わりの時について語る時、いつも地震についても話すのは、皆さんもご存じの通りです。私はブラッドムーン等については、注目しません。ただ、イエスが弟子たちに「終わりのしるし」として言及したことの  
一つに、地震があります。ここ数日、地震について目を見張っていますが、その数は前代未聞で、さらには「7日間の警戒期間」とアナウンスされたほど、ここ太平洋西部で超巨大地震が起きることが予想されています。また、それによってアメリカ西海岸に大きな圧力がかかると言われています。北カリフォルニア沿海でマグニチュード7クラスの地震が起こると言われており、それが沖合で起こるのか、沿岸で起こるのかは、はっきりとは分からないらしいのですが、ただ一つ確かなことは、引き続き陸地にマグニチュード4~5の低い圧力がかかり続けるとのことです。

また、我々が注目しているのはこれだけではありません。これらの地震の影響として、火山活動にも目を見張っています。今年は何のすごい年になると思います。太平洋西部で非常に大きな事が起こるでしょう。日本で起こったマグニチュード9.3（恐らく2011. 3.11の地震を言っている。この時のマグニチュードはM9.0）の地震と同等のものが起こると予測されています。残念ながら、インドネシアや周辺地域では、非常に多くの人々が地震に苦しんでいます。ともかく、私がお伝えしたいのは、地球規模で高まって来ている圧力についてです。それは可能な限り、ありとあらゆる側面、領域で地球規模の圧力なのです。現在目の当たりにしている地震やプレートの移動だけでなく、政治的にも、経済的にも、霊的にも圧力

が高まっているのを見ることが出来ます。私たちは、これら全ての事を注意深く見ていかなくてはなりません。

1月20日を境に、ドナルド・トランプがアメリカ大統領としての活動を始めます。その日に向けて、多くの人に多くの圧力がかかっています。政治的偏見を植え付けるメディアにも、中東にも、かなりの圧力がかかっているのです。そして、エルサレムには、あらゆる方面から圧力がかかっています。世界はまるで、トランプが就任する前に、大急ぎで動かせない何かを確実に設定しようとしているかのようです。現政権（オバマ）はどうかして、新大統領が手も足も出せないように執拗に動いているように見えます。これは大変気になることです。つまり、ここ数日内で開催されるパリでの中東和平会議（1月15日）と、さらにその2日後の17日に、中東に関する国連安保理の特別会議が開催されます。それから20日にドナルド・トランプが大統領に就任します。

このように、悪の勢力が残業してまで必死になって、人々の意思に反し、また神の御心に反して働いているのです。それでも、とても面白いのは、私はいつも、世界の指導者たちが決断する様子を見てみると、ある意味笑ってしまうのです。なぜなら、彼らは自分たちが利口で、良いことをしていると本気で思い込んでいるからです。彼らは自分たちが素晴らしい決断をしていると、本気で思っていますが、自分たちの悪の行いが、終わりの時の重要な役割を果たしている、ということを理解していないのです。パロがモーセに対してどのように反応するか、神は事が起こる前からご存知でした。神がモーセを召命し、パロの所へ行くようにと告げた時、パロがどういう反応をするのか、神はモーセに伝えてあります。言い換えれば、世界の指導者たちが行動したり発言したりするよりも前に、神はすでにご存じだということです。人の道は神の道とは違い、私たちは全てを知らないが、神は全てをご存じなのです。そして、神がすでに知っておられることを基に、私たちに与えられたのが、聖書の3分の1を占める驚くばかりの預言で、それらは実に信頼できるものなのです。なぜなら、これは神の御言葉が、主の預言者たちを通して、我々神の子どもたちに与えられたものだからです。

みなさんに理解しておいていただきたいことがあります。数日前にオバマがインタビューに答えていましたが—

Q:あなたはイスラエル首相を怒らせようとしているのですか？ネタニヤフ首相やイスラエルに復讐しようとしているのですか？

A:いいえ、自分は世界にとって最善な事をしようとしているのです。イスラエルにとって、あの地域にとって最善の事です。

彼らの思考は、自分たちが良いことをしているとすっかり思い込んでいるのです。彼らは、神が彼ら全員を笑っておられるということ、理解していないのです。なぜなら、私たちは

パリ会議の前から知っているのです。国連安保理決議の前に、私は言えますよ。イスラエルを分断するために世界中が招集する。エルサレムを分断するためにです。これは私たちがすでに知らされていることで、彼らはそれを行い、神が彼らを裁かれると聖書に書いてありますから。ですから、ヨエル3章にある通り、神は明らかに彼らを裁かれるのです。彼らはそれをしなければならぬのです。そして彼らは、自分たちのしていることで神からの裁きがあるとは、全く考えもしないのです。ですから、御言葉を信じ、世界情勢を見てパニックにならない人にとっては、神が預言者を通して、前もって言われた通りに物事がものすごい速さで動いていくのを見るのは、大きな励みになることでしょう。神が、指導者たちがしたいように行うのを許されたように、神は私たちに約束された通りに行ってくださいることを知って、私たちもまた励まし合うことが出来るのです。私は超励まされています！しかし同時に、私たちの仕事・義務は、状況を理解していない人々の目を開く事だけではなく、自分の心もチェックすることです。これから神が行おうとされていることに対して、私たちは準備ができているでしょうか？

さて、いくつかのことについてお話ししましょう。

先ほど、「圧力が高まっている」と言いましたが、それは地震・地殻変動・火山活動の増加、軍事的な機動作戦でも圧力が増しています。海軍、陸軍、世界各地の様々な部分、台湾と中国や、シリア、レバノン、シナイ、現在世界中で実に様々なことが起こっています。そして、その一つ一つがそれぞれ聖書預言成就に関して大きな役割を果たしています。地下での圧力については先ほどお話ししましたので、イエスが弟子たちに語られた、最も大きなしるし、終わりの時代を特徴づける事柄についてお話ししましょう。繰り返しますが、こちら太平洋の西側で非常に大きなことがおころうとしていて、それがアメリカ西海岸に影響をもたらします。それについても、状況を監視していきます。

しかし、いくつか皆さんに理解していただきたいことがあります。まず第一に、政治的偏見を植え付けているメディアの中にパニックが起こっていることです。そういったメディアによって企てられた身の毛のよだつような動きがありました。一つは、正当に当選したアメリカのトランプに対して、もう一つはイスラエルのネタニヤフに対してです。どちらも記者たちの仕業です。現在は彼らも恥じ入っているようですが、それは、メディア側がインチキの偽情報を用いたことが明らかになったからです。

トランプに対しては、「ミス・ユニバースとモスクワにある自身のホテルで密会」というニュース。私は、彼がそんなことをするほど馬鹿だとは思いません。そしてメディア側も現在はそれに気づいたのだと思います。CNNは多大な信用を失って、最近の記者会見では、トランプが名指しで彼らの間違いを証明しました。CNN自身がそれを理解し、アナリストがこれらのニュースがお粗末で、不公平に扱ったことを認めました。「放送する前に、これらの情

報を十分に検証していませんでした」と。

次にネタニヤフに対して。大手メディアが「ネタニヤフはイスラエル最大の新聞社と取引・契約を結び、ネタニヤフ派の新聞社を排除して、最大新聞社がネタニヤフに関して都合の良いことを報道するように、権威とわいろを渡した」と伝え、ネタニヤフ批判しようとした。これら全てはデタラメで、間違いです。では、ネタニヤフはどうしたのかというと、録音しておいたのです。彼はイスラエル最大の新聞社の編集長兼社長との面会に、ポケットに録音機を忍ばせて出向きました。その会話の中で、実は新聞社の方がネタニヤフを脅迫していたのです。「ネタニヤフ派の新聞社を追放するか？さもなければ、我々が敵対する！」と。当然、ネタニヤフは、メディアと警察が共謀することを恐れて、この録音に関しては何も行動しませんでした。この録音は、ネタニヤフのスタッフの家での、別の警察の捜査で偶然発見され、全てが表沙汰になったのです。そして、メディアが恥をみることになりました。いつもクリーンさを説き、清い政治を説いてきた左翼系リベラル政治的偏見メディアが、実際は支持を得るために最も醜い裏工作をしていたことが、白日の下にさらされたのですから。

このようにアメリカでもイスラエルでも、最後の最後に、1月20日になんとかしてトランプをホワイトハウス入りさせないように、また、ネタニヤフを首相の座から引きずり降ろそうとする、必死の動きが見られます。結構衝撃的ではありませんか!?

次に、シリアに起こっていることについてお伝えします。シリア情勢も驚愕です。まだ確認が取れていない情報ですが、数時間前、ダマスカス西部の空軍基地にある武器庫を、イスラエルが攻撃した、ということに関して。今、私がはっきりと言えるのは、ただ「誰かが攻撃した」ということだけです。私の立場から、これが私たちだということは、大変無責任なのですが。でも、皆さんはすでに察しはついていることでしょう。武器が不正な者の手に渡る前に、夜間に武器庫を攻撃する者とは誰なのかを。恐らくイスラエルでしょう。報道では、ガリラヤ湖地域からミサイルが発射されたとあります。つまり、連続して2度、我々は航空機を使わず、地対地ミサイルを使用したということです。それは、シリアにいるロシアの存在と、我々に対して友好的ではない、ロシアの対航空機システムが原因なのです。この攻撃に対して、シリア政権は激怒し、イスラエルに対して警告を発しました。彼らは我々が反政府軍と提携していると思っているようですが、我々はそんなことはしていません。実際のところ、我々はアサドの方がまだISISよりもマシだと思っているくらいです。しかし我々は、その武器がイランからダマスカスを経由して、ヒズボラ（レバノン）の手に渡ることは容認できないのです。ですから、そういった動きを探知するたびに、我々はそれを破壊するのです。それで、ダマスカスはほぼ毎月イスラエルから攻撃されていて、シリアに寛容なイラン・トルコ・ロシアがいつ、瞬時に反撃に出るのだらうと思っています。私は多分、可能性としては、これが最高のシナリオではないかな、と思っています。何か非常に大きなことがダマ

スカスで起こり、これらの3か国がかの地域からイスラエルを攻撃してくるのです。

さて、シリアにおいて理解すべきことがあります。ダマスカスでは、かれこれ2週間水が不足しており、人々が苦しんでいます。反政府軍はアレッポでは敗北したのですが、それでも理解しなければならないことは、ダマスカス郊外に多くの反政府軍が拠点を構えていて、そこにはダマスカスに飲料水を供給する水源があります。そこで、反政府軍は特定のポンプや水源を標的にした為、ダマスカスに流れ込む水がないのです。地域によっては電気もありません。また、6日前にはISISが北部にある最大の天然ガス・プロパンガス施設を破壊しました。つまり、ダマスカスはじきに、水や電気のみならず、ガスもなくなるのです。ご存じの通り、冬季は家の暖を取るのに、このことが問題になってきます。このように、ダマスカスは外部からだけでなく、内部からも状況に不満を抱く人々からの圧力も高まって来ているのです。覚えておいてください。イスラエルはこのことについて何の責任もありません。これらは反政府軍と政権軍との戦いが原因であり、人々が苦しめられているのです。

さらに興味深いことに、ここ2週間のうちにロシアとトルコとの間で協定が結ばれました。ロシアは、シリアでの駐留に関して再考し始めています。最高司令官はすでに、空母アドミラル・クズネツォフを自分の領土に戻すようにと指令しました。なぜなら、彼らはアレッポでの目的をすでに完遂しているからです。また、ロシアは経費削減の必要にも迫られています。これらは何億ドルという単位の話で、彼らにはそれを取り戻すすべはありません。中東と関わるために、プーチンはそれだけのことをしようとしていたのです。彼は、何でもお金と権力には魅了され、どんなことでも経費のかかることから撤退します。だから、イスラエルのガスと原油が、後になってイスラエルに攻め込ませることになるのです。しかし現状は、経費に次ぐ経費で、状態はよろしくありません。ですから彼は、「シーア派クレセント（三日月地帯）」を創造しようとするイランの興奮と荒々しい動きに、蓋をしようとしているのです。はるばるイランからイラクを通過して、地中海に向かってシリアまで、彼らは初めてこれを創ろうとしています。それに対してプーチンは、

「もう、これで十分だ。」「自分はお前たちの夢やファンタジーを手伝うつもりはない」「私には果たすべき目的があるのだ」と言って、彼はトルコと契約を結んだのです。今のプーチンにとって、トルコの方が、ガスパイプのためにも重要なのです。そして、内政に問題を抱え、シリアからの解放を必要としているトルコは、大喜びでこの話に飛びつきました。プーチンは日々の戦いにあまり関わらずに済むことを喜んでいます。彼は、そこに駐留し、膨大な数の兵士が亡くなったことで、大きな代償を払ったのです。

しかし、理解しなければならないのは、イランは現在圧力を感じており、トルコもまた圧力を感じています。なぜなら、トルコ国内では今、内戦が起こっていて、だれもそれについて話したがらないのです。これはトルコ人、クルド人だけの問題ではなく、人々はトル

コ政府がロシアと提携することに反対しているのです。それはロシアがアレッポで行ったことが原因です。あの時起きたロシア大使の暗殺がそれを物語っています。現状に対する大きな不満が募っているのです。テロリストはクルド派、ジハード主義ともに経済を失墜させており、そのためにバブルがはじけ、トルコリラは30%近く下落し、これまで約束されてきたトルコ経済は大不況に陥り、ボロボロです。トルコ、イラン、シリア。これら全ての圧力が高まる中で、皆さんが理解すべきことは、通常、戦争とは地震と同じで、圧力を解き放つのです。

次に、15日に行われる、重要なパリ会議について。70か国が参加すると言われていますが、正確には72か国が参加表明しています。パレスチナも自国の代表団を送るとのことですが、出席するかどうかはわかりません。しかし、これはただのショーであることを理解しておいてください。どういうことかということ、決議の草案はすでに決定されているのです。皆が来て、話はしますが、最後に読み上げられる文章はすでに出来上がっているのです。アメリカはいくつか改善しようとしているようですが、しかし、この決議で使われている言葉は、イスラエルに対して非常に厳しくて、まるでイスラエルが問題であるかのようです。世界中が燃えています。何百万という人が殺されています。イスラムはイスラムを殺し、市民権は踏みにじられています。そして、イスラエルこそが世界の問題だと。世界は72ヶ国を招集して、イスラエルのエルサレムについて対処するのです。問題や惨事が起こっているシリアでもモスルでもアレッポでもないのです。全ての惨事は、世界中から忘れられていて、誰も取り合おうともせず、現在、ヨーロッパでさえも隠そうとしています。ドイツでは、大みそかに国の至る所でレイプや性犯罪が複数発生しました。実際、現地では「レイプ防止ズボン」が売り出されていて、女性たちがそれを穿いています。考えられますか？21世紀のヨーロッパで、女性がレイプされないようにと、こんなものを穿いているとは。ヨーロッパの現状はとても驚くべきものです。しかし、それでも、彼らは揃って時間を割いて、フランスまでもが、数か月ごとにイスラムテロに遭いながら、一対処していることと言えば、中東最大の問題、最大の惨劇、彼らが憑りつかれているもの、それはもちろん、イスラエル、エルサレムです。

さらに理解しておくべきは、世界中に受け入れられている安保理決議はすでに存在していて、それがイスラエル—エジプト和平プロセスと、イスラエル—パレスチナ和平プロセスの基礎となっています。これらは6日間戦争（1967年6月5日～10日、第三次中東戦争）直後の1967年11月に採択された決議242と、ヨム・キプール戦争（10月戦争とも。1973年10月6日～24日、第四次中東戦争）の後、1973年10月に採択された決議338です。このどちらとも、パレスチナを国家としては記載しておらず、イスラエルは「国土の一部」を分けるように、とあり、「全国土」でも「国土」でもなく、「領土」でも「全領土」でもありません。また、そこにはさらに、「イスラエルは国境の安全が必要だ」と書かれており、エル

サレムについても書かれていませんでした。それが決議 2334。まさに安保理に持ち込まれ、オバマ政権によって取りまとめられたものです。これは過去のどの安保理決議よりも最悪で、パリ会議に向け、ある種の決議をして、さらにひどい安保理決議として、整えられたものです。アメリカは唐突に、イスラエルに敵対するものには拒否権を行使するなどと言いました。しかし、正直言うと、私はこの政権については一切信用していません。彼らは前回も、自身の大使を通して「拒否権を行使します」と言ってきましたが、しませんでした。そんなことがあったので、今回も、彼らがそれをするかどうかわかりません。しかも、これはオバマが大統領としての差死後の舞台ですから。わかりません。ただはっきりと分かっているのは、現在、イスラエル史上かつてなかったほどに、エルサレムが審議されているということです。なぜなら、今それは決議 242 と 338 から取り出され、2334 によって審議の机上に置かれ、世界は 1967 年 6 月 4 日以降に追加・もしくは変更された領土について、どんなことでも 3 か月ごとに国連に報告するようにと求めています。分かりますか？エルサレムの全ての家が、—西岸地区やゴラン高原の話ではありません—イスラエルの首都エルサレムの話です。全ての家が報告しなければならないというのです。本当に馬鹿げています。私たちは今、沸点に達していて、まさにエルサレムがよろめかす杯（ゼカリヤ 12:2）となっています。他のどこの都市でもなく、神がその御名を置くと言われた都市（第 2 歴代誌 6:6）はエルサレムだけなのです。つまり、彼らは今、エルサレムに手を出そうとしてますが、それによって彼らが大きなダメージを受け、心を痛める結果となるということです。

さて、ここまでのまとめです。世界中でプレッシャーが高まっているということをお話ししました。地震や地殻変動の圧力によっての結果、これまでになかったような巨大地震や、火山の大噴火が起こります。巷の地震観測者たちはここ数日寝ていないのです。そこらじゅうで常に地震が発生しているからです。驚きです。それからスンニ派、シーア派クライシスの圧力についてもお話ししました。ISIS は払しょくされたのではなく、さらに強力になっています。それから、シリアも大変な圧力下の中にあるとお話ししました。ダマスカスは数時間前にイスラエルによって攻撃されました。また、水も電気もなく、もうじきガスもなくなります。それから、トルコは経済がひっ迫し、沸点に達しています。我々はそれを内戦と呼びますが、西側諸国はそう言いません。なぜなら、エルドアン政権と波風を立てたくないのです。また、イランは望むままにイランから地中海のシーア派クレセント（三日月地帯）を拡大することを、ロシアが認めないということで、怒りを燃やしています。それから現在、アメリカ国内でも継続中の、トランプが大統領として始動するのを阻止しようとする動き、その圧力がどんどん膨れ上がり、高まっています。パリで通過する決議は恐らく、1 月 17 日の国連安保理に持ち込まれることでしょう。そこで何が起こるかは、神のみぞ知るところです。

紳士淑女の皆さん、2017 年は大きな決断が下され、自然災害も含めて、世界中で大きな出

来事が起こるでしょう。そこで私たち全員が理解しておきたいのは、今こそ、花嫁が準備を整えて、主に「来てください！」と呼ぶ時です。今、この時です。前にも言いましたが、主が私の心に語りかけられたのは、

17 御霊も花嫁もいう。「来てください。」

(黙示録 22:17)

私たちは、主に「来てください」と言わなければなりません。と言っても、私たちが言わなければ主が来ないのではなく、私たちが「来てください」というとき、主は喜ばれるのです。私たちが神に何かを願って求める時、神は喜ばれるのです。神は、神の子どもたちが「導いてください」と願うとき、喜ばれるのです。あたかも、出エジプト記でモーセが「あなたが導かれるのでなければ、私は動きません」と言ったように、私たちもキリストが来られない限り、動きません。ですから、私たちはキリストの花嫁として備えなければなりません。私たちは、現在の自分の生活や、自身の心を見直す必要があります。

私たちは、驚くべき時代を生きていると思います。2017年、全世界の形相が変わることでしょう。そして私の立ち位置は、「花嫁は備えよ！」今まで何度も言ってきた通り、世界中で起こっていることを目の当たりにして、神が働かれる軌道は常に2つあって、一つは世界の軌道。すでに決定されていること、すでに告げられていることは必ず起こるのです。止めることのできないこと、ゴグやマゴグや反キリストの登場など、私たちにはそれを止めることはできません。しかし、もう一つの軌道は、神が我々の人生の中で働かれることです。これは、私たち次第です。何を行い、どういう態度で臨み、どう受け止めるのか。ですから、止められないことを止めようとせず、変えられることを変えましょう。そして、私たち自身を花嫁として、花婿の到来に向けて備えるのです。

さて、そういうわけで、どこにお住まいか教えてください。そして、もし可能なら「花嫁として」書いてください。

17 御霊も花嫁もいう。「来てください。」

(黙示録 22:17)

皆で、一緒に「来て、私たちを連れて行ってください！」と言いましょ。

ちょうど「携拳について」と「携拳の奥義」についてメッセージしましたが、それはそれは素晴らしくて、これからも多くの人に伝えていくつもりです。実に、多くの人が携拳を実際に起こることだとは信じていませんが、私たちが理解しておかなければならないのは、世界



が理解できないこと・把握できないことが、実にたくさんあるということです。紅海を渡ったことですら、今の今でも人々は信じられないでいます。実際にたくさん物理的証拠があるのに、—エジプトとサウジアラビアに橋も発見されました。外側だけが全焼して、内側は焼けていない山も見つかっています。裂けた岩も発見されていますし、実際にどのようにしてイスラエルがエジプトを出たのか、驚愕の証拠が数多く見つかっているのです。もし神が紅海を分けられたのなら、もし神がエノクとエリヤ、それからイエスを天に挙げられたのなら、どうして神が私たちを挙げることに問題がありましょう？神は約束されたのです。第一コリント 15:51 だけでなく、第一テサロニケ 4 章でも約束されました。それも、ただ来られるだけでなく、主ご自身が…イエスご自身が天から下って来られる、と聖書には書いてあります。

ですから私は、皆さん全員に伝えたいのです。

備えをしてください。私たちにとって、素晴らしい年になります。

どうかニコリ微笑んでいてください。皆さんは花嫁なのですから。

聖書にも、これらの言葉をもって、互いに励まし合いなさいとあります。私たちは気落ちしたりはしませんが、気落ちする人たちとは誰なのでしょう？それは準備のできていない人たちです。準備のできていない花嫁は、花婿に「来てください」とは言いません。ですから、私たちは備えなければいけないのです。そして、私たちの準備が出来れば、主は来られるのです。

それから、「2017年9月23日についてどう思います？」とか「ラッパの祭りなんですけど？」と多くの人が言っているのを知っています。言っておきますが、その日、その時は私たちにわかりません。そして、それには理由があるのです。それは私たちが常に備えておく必要があるからです。なぜ、私がこんなことを言うのかというと、多くの人が「神は前回、全ての祭りをその日に成就されたじゃないか。」とか「イエスの時にそうされたのに、どうして次はそうじゃないんだ？」と言っているからです。例えば、キリストの再臨は仮庵の祭りの成就だと、多くの人が信じています。主が人々の間に住まわれると。そうです。その通りです。ただ、主は人々の間に千年住まわれるのに対して、仮庵の祭りはたったの8日間です。このように、主にとっては、一日は千年のようで千年は一日のようですから、私たちがある日を指して、「この日だ！」と言わなくても良いのです。私たちは備えておかなばなりません。だからパウロは、携挙について語るとき、絶対に日についても時についても触れずに、特定の日を指定したりなどしていないのです。私たちは、生きている間にいつでも起こり得ることと思って、備えなければならないのです。重要の極みです。

さて、多くの人たちがニュースレターに登録してくださり、うれしく思っています。ホームページよりご登録ください。また、You Tube チャンネル登録もしていただきました。なぜこんなことを言うのかというと、2017年、敵は、終末について警告を発し人々に悔い改め

るようにと呼びかけている人々の声を、止めようと企てています。ソーシャルメディアでは、私たちの発言内容に制限を設けようとしています。その名目が「偽ニュース」です。誰が偽か真実を判断するのかわかりませんが、偽のニュースを報道しているのは、個人ではなく、メディアですから。とにかく、皆さんに理解していただきたいのは、いったん Behold Israel の You Tube チャンネル登録、ニュースレター登録をすれば、あとは Facebook を通さずにニュースが届くのです。これはとても重要なことです。どうかご登録ください。私が Facebook で話したことは、最終的に You Tube チャンネルに行きます。近い将来、これが皆さんと繋がる唯一の道となると思います。

2017 年、とても楽しみにしています。約 14 か国から招待されていますが、人々が終末に関するメッセージを聴く心構えが出来ていて、自分たちが生きる今の時代と季節をしっかり理解しているのです。聖書預言は、今の私たちに神が与えてくださった最大の贈り物だと思います。不透明で即席のこの時代に、私たちは世界に何が起こるのか、そして自分たちのこれからを知っているのです。聖書は語ります。

18 こういうわけですから、このことばをもって互いに慰め合いなさい。  
(第 1 テサロニケ 4:18)

さあ、ダマスカスの預言成就の準備を見ました。これはイザヤ 17 章。エゼキエル 38 章でイスラエルに攻め込んでくる国々が配置についているのも目にしています。エルサレムがよろめかす杯になっているのも見えていますね。これはゼカリヤ 12、14 章。マタイ 24 章、ルカ 21 章に書かれた、終わりの時のしるしとして、地震も、その他すべての事柄もすでに整っています。他に何が必要ですか？ すべてが然るべき場所に、落ちていきます。崩壊していくのではなく、これらのことに目を向けてください。私たちはものすごい情報ソースを持っているということを理解するべきです！それは、「聖書」！世界は、私たちが知っている詳細を、自分たちも知っていたらと願いますが、私たちは隠しもしないし、人々に伝えていません。耳のある者は、御霊が言われることを聞きなさい。目のある者は、御霊が見せてくださるものを見なさい。

フィリピンのボラカイ島より、皆さんを励ましたいと思います。強くあれ。天に目を向けて、備えをして、主を呼びましょう。準備が出来ているなら、主を呼びましょう。準備が出来ていなければ、主を呼びたくないでしょう？まずは準備をしてください。そして、花婿に「来てください」と呼ぶのです。

17 御霊も花嫁もいう。「来てください。」  
(黙示録 22:17)

You Tube チャンネルは Behold Israel、ホームページは Behold Israel.org、メールアドレスは [info@beholdisrael.org](mailto:info@beholdisrael.org)、インスタグラムは Behold Israel。インスタグラムでは、今私が収録しているスタジオがご覧いただけます。このバルコニーに椅子とテーブルが山積みです！こんな風にして、Facebook Live を収録しているんです。

フィリピンより I love you all! 家族のためにお祈りくださってありがとうございます。息子もずいぶん元気になって、家族も無事家に帰りました。ここフィリピンでの伝道にも、とてもワクワクしています。家に帰るのも、とても楽しみです。今年はやる事が盛りだくさんですが、主が迎えに来られた時、御父の業に励んでいるところを見られたいものです。Thank you! God bless you! And shalom from Philippine!

---

このメッセージは BEHOLD ISRAEL のイスラエル在住メシアニックジュー Amir Tsarfati 氏が公開したメッセージを、アメリカ在住の日本人クリスチャン木下言波が翻訳して YOUTUBE やブログに上げたものを文字化したものです。リアルタイムで知りたい方は、BEHOLD ISRAEL (英語)、「DIVINE US」(日本語)を検索してください。世界的なインターネット規制が始まろうとしています。私達はその日のために、文字にして紙に記録する必要を感じました。また、インターネットに不慣れな方や字幕を追って読むのが困難な方のためにも必要があると主に迫られたと感じます。

※インターネットのメッセージを、文章化するこの働きを始めた姉妹が、現在目を患って治療中です。どうか、りょくさんの為にも、お祈りください。

---

*「きょう、もし御声を聞くならば、あなたがたの心をかたくなにはならない。」ヘブル 4:7*

メッセージ by Amir Tsarfati/Behold Israel : <http://beholdisrael.org/>

訳 by 木下言波 DivineUS : <https://www.youtube.com/user/TheDivineUs>

筆記 by MIHO